

■ 駅前通りから俯瞰したイメージ。独立した屋上広場、大屋根広場は落ち着いた印象。



■ 駅前交差点から見る。



■ 地下道出口(駅前通り)付近から見る。

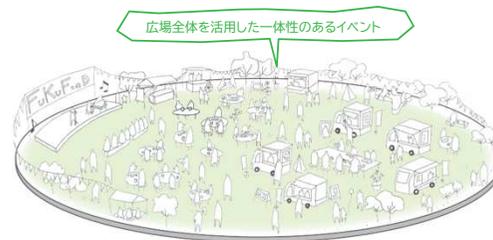
<特徴>

- ① 大屋根は、上部に人やモノが乗らない構造。
- ② 屋上広場はイベント利用もできる大きな空間で、独立して落ち着いた感じ。

<課題>

- a. バックヤードを広げた影響でホワイエが狭い。
- b. 地上から屋上広場が見えにくい。また、屋上広場が空間的に単調(変化が少ない)。
- c. ホール分割利用時の遮音性能の確保のため二重壁を採用したり、真ん中を緩衝空間としたりする工夫が必要。

市施設面積概算 :14,500 m²程度*
市施設取得費見込み:270~290億円程度*



【A案(BIG ROOF)の特徴】

- ・ 大屋根広場や屋上広場は、それぞれ独立しており、広いスペースを確保しているため、大人数の利用に向いている。
- ・ 一体的に利用できる大きなイベントを行いやすい。

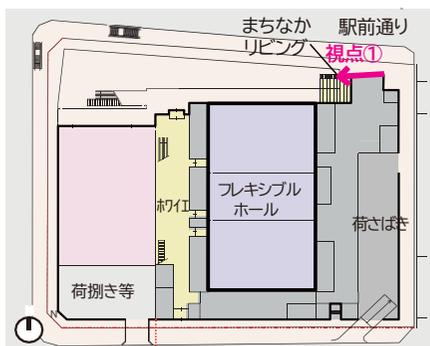
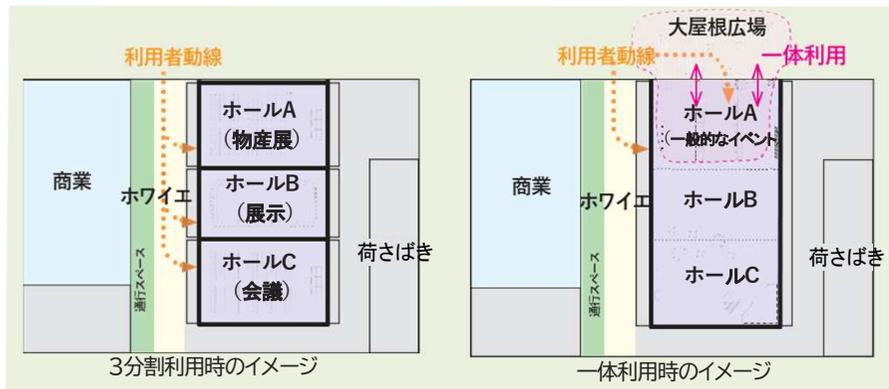


【A案(BIG ROOF)の課題】

- ・ 広いスペースは、単調・均質になりがちで、個人や少人数の日常利用にはやや不向き。
- ・ 様々な人々が同時に、思い思いに過ごすには使いづらい。

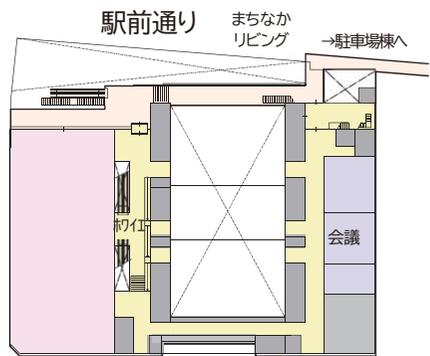
* 取得費見込みはR6.3ベースの概算。面積概算・取得費見込みとも今後の設計・積算により変更の可能性がある。

まちとつながり、様々なイベントに対応できる「フレキシブルホール」
同時に多様なシーンが生まれる



民間エリア ← 公共エリア
配置兼1階平面イメージ

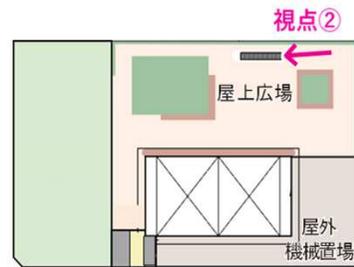
1. 3分割利用可能なフレキシブルホールにより様々な催事が可能
2. 大屋根広場や駅前通りとつながる、街にひらかれた、街とつながるホール
3. 民間エリアにつながり、南北通り抜けができるホワイエ



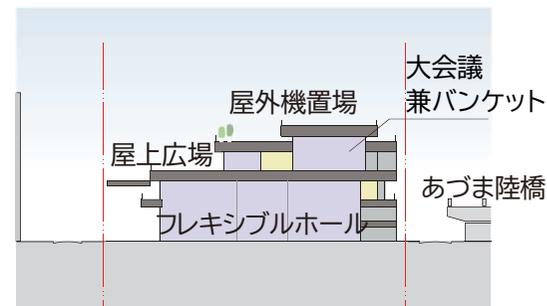
2階平面イメージ



3階平面イメージ



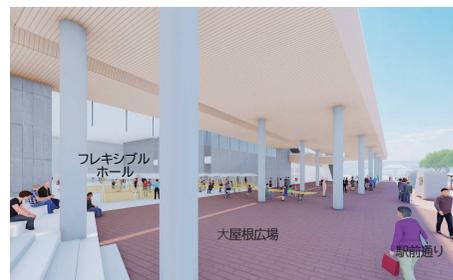
4階平面イメージ



断面イメージ



駅前通りから見たイメージ。



■ 視点① ホールは大屋根広場・駅前通りとつながる。



■ 視点② 屋上広場は独立しておりイベント利用しやすい。

* 取得費見込みはR6.3ベースの概算。面積概算・取得費見込みとも今後の設計・積算により変更の可能性がある。